

国保・介護の新年度予算質疑より



国保加入世帯の平均所得は、

2008（平成20）年度178万円

2009（平成21）年度160万円

2010（平成22）年度140万円

2011（平成23）年度141万円

2012（平成24）年度139万円

というように、どんどん下がっています。

昨年度の国保税引き下げは、資産の無い世帯にとつてはごくわずかでした。高すぎる国保税に苦しむ加入世帯のために、一般会計から繰り入れしてでも引き下げるべきと迫りました。

介護保険会計は、特別養護老人ホームの不足を補うような高齢者住宅が多数進出していることもあり、サービス利用は拡大の一途です。このままでは、次期計画での大幅な保険料値上げは必至です。

「利用拡大がそのまま高齢者の保険料負担増大につながる」という介護保険の仕組みそのものを、改善させる必要があります。

耐震化必要な学校施設あと 14 棟・6 園舎も…、特別教室等の転用は 9 校・13 教室残る 学習環境整備こそ教育行政の責任です！



新年度予算では、体育館と校舎を3棟ずつ耐震改修します。

しかし、国が決めた最終期の2015（平成27）年度までに改修が必要なのが、まだ体育館1棟・校舎13棟・幼稚園舎6棟も残っています。

また、子どもの数が増えて普通教室が足りない学校では、この間特別教室や多目的スペースを教室に転用してきました。そのままになっているのが、9校で13教室にのぼります。

市と教育委員会は、準備不足のまま「英語科」を導入するような目玉事業に飛びつくよりも、最低限の責務である教育環境の整備にこそ、全力をそそぐべきではないでしょうか？

緋の郷リニューアル！円形交流館ホールに磁気ループ設置



「緋の郷」円形交流館

東日本大震災で被災し、円形交流館の建て替えと市民交流館の耐震化などが進められてきた「緋の郷」が、4月20日リニューアルオープンとなります。

円形交流館内の多目的ホールには、耳の聞こえが悪い人のための「磁気ループ」が設置されることになりました。

日本共産党市議団はかねてから市公共施設への「磁気ループ」設置を提案してきましたが、これが初の設置例となります。

※「磁気ループ」があると、マイクからの音声は直接、補聴器や受信器に伝えられるので、雑音の少ないクリアな音声を聴くことができます。